

第 24 回 PERIO PBL カンファレンス

2016 年 11 月 30 日 (水) 17:30~18:30

第 24 回 PERIO PBL カンファレンスが開催されました。

①医療支援歯科治療部より「術後肺炎ハイリスク症例における退院後サポートの重要性～他職種連携による肺炎要因への対応～」がテーマでした。今回の症例では、誤嚥性肺炎発症は単一の原因ではなく、様々な要因が絡んでいることが考えられました。食道癌術後の嚥下機能低下は避けられない部分もあり、入院中から誤嚥性肺炎のリスクを予測し、退院後も多職種連携による予防的介入が必要だと述べられました。術後の退院がゴールとすれば PERIO の意義は十分発揮でき、術後 23 日で退院と良好な経過でしたが、退院後のサポートの重要性を考えさせられた症例でした。

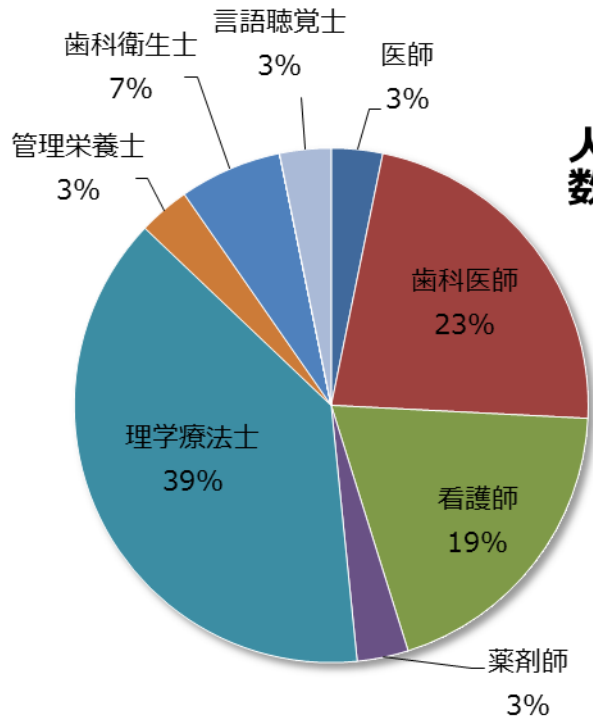


②スペシャルニーズ歯科より嚥下機能障害の症例について提示がありました。肺切除術後にアスペルギルス症を発症し、今回、右肺空洞切開術となった症例でした。この症例は、術前より嚥下機能障害、アルコール性肝障害、栄養障害によるるい瘦、原疾患からの低肺機能など、周術期のリスクが多くありました。スペシャルニーズ歯科では摂食嚥下リハビリテーションとして、術前から介入

を行っていましたが、術後、さらに嚥下機能の低下があり、現在も経口摂取に難渋していました。嚥下機能の評価の推移は、嚥下内視鏡所見が提示されました。会場からは、胃瘻造設をしてはいるが、もともとのるい瘦に加えさらに体重減少があり、筋力低下していることについて質問がありました。患者さんご自身が長期療養となり焦りもある中、意欲を支持しながら、チームでリハビリ介入することの重要性について意見がありました。

参加者職種別内訳

人数



参加者職種別内訳	
職種	人数
医師	1
歯科医師	7
看護師	6
薬剤師	1
理学療法士	12
管理栄養士	1
歯科衛生士	2
言語聴覚士	1
合計	31